

太地方ニ移出スルノミナリ

- 八、人力車百八十八、艇舟運送用二百五十六乗用百九十九、電車三十五、貸自動車二アリ
  - 九、公園一、劇場三、活動寫真常設館七、共同便所二十七、區立函館圖書館一、區立精神病舎一アリ
- 北海道室蘭郡室蘭町 室蘭警察署(大正六年七月十六日調)

- 一、戸數七千五百八戸 人口三萬三千八百十一人
- 二、既往九年間著シキ傳染病ノ流行ナシ、地方病トシテ特ニ認ムヘキモノナシ

最近六年間傳染病患者發生表

年次	赤痢	腸チフス	チフス	痘瘡	發疹チフス	猩紅熱	實布	培利亞	ベスト	摘	要
大正元年	1	2	1	1	1	1	4	5			
同二年	1	2	1	1	1	3	4	1			
同三年	1	1	0	4	8	1	3	5	1		
同四年	1	1	1	1	1	1	5	7	1		
同五年	2	6	5	1	1	1	2	4	1		
同六年六月マテ	4	1	2	1	1	1	1	2	1		

本年六月二十四日腸チフス患者一名發生傳染病院へ收容爾來續發患者ナシ

- 三、支廳、警察署、土木派出所、水産試験所、町役場、巡查部長派出所一、水上巡查派出所一、巡查派出所三、郵便電信局アリ電話設備アリ、救難所ナシ

四、浴場二十五軒各戸一時ニ約十五名ヲ收容スルヲ得、毎日午前七時ヨリ開始スルヲ例トス、旅館一等二戸收容概數百名、二等二戸同六十名、三等二戸同四十名、計二百名、料理店一等一戸、二等三戸、三等三十六戸、妓樓二十二軒公娼百二十八名、檢微毎週一回(土曜日)、藝妓五十二名、飲食店十一軒、酌婦三十八名、雇女四十九名、組合醫師ノ健康診断ヲ受クルモ檢微ヲ行ハス、其他私娼ハ町内ニ散在シ大正五年中密賣淫トシテ檢舉シタル人員三十六名ノ内健康診断(檢微)ノ結果十七名ノ有毒者ヲ出セリ

五、公立病院一、收容人員町立室蘭病院約百十四名、私立病院二、收容人員日本製鋼所病院約百一名(傳染病院ノ設ケアリ十二名收容)、佐藤病院約二十名ニシテ何レモ設備完全ナリ入院料ハ公立病院一等二圓五十錢、二等一圓五十錢、三等九十錢、私立病院ハ一等二圓八十錢、二等一圓七十錢、三等一圓、傳染病院一、收容人員六十名埠頭ヨリ約十五丁設備完全ニシテ收容上支障ナシ、町立室蘭病院ハ埠頭ヨリ約十丁、日本製鋼所病院ハ約十八丁、佐藤病院ハ約三丁何レモ車馬ヲ通ス、醫師ノ數十五名内病院勤務十二、開業三ニシテ患者收容ノ設備ナシ

六、上水ハ公設水道完成シ市内及船舶ニ供給セラル、下水ハ不完全ナルニ依リ完成ヲ期シツ、アリ

水質檢査成績

種類	採取月日	同上場所	清濁色	臭味	反應	クロール	石灰	アムモニア	硫酸	亞硝酸	硝酸	有機物	飲料適否
水道	大正三年	共用栓	清澄	無色ニシテ臭味ニシテ異状ナカリ	微弱アルカリ性	六・四	微量	檢出セス	殆ト反應極メテ痕ヲ呈セス	檢出セス	過滿飽和	飲料ニ適	適
	二月十日												





院ハ目下ノ處腸室扶私、バラチフス、猩紅熱、實扶埵利亞等ノ傳染病患者ヲ收容シ得ルノ外他ノ設備完全ナラス

六、水道ノ設備ヲ缺ク飲料水ハ井水ヲ使用シ、船舶ニ對シ給水設備ヲ有セス、下水ハ概シテ不完全ニシテ各街路ノ兩側ニ木製開渠ヲ通スルニ過キス

水質検査成績

種類	採取月日	採取場所	清濁色	臭味	反應	タロール	石灰	アムモニア	硫酸	亞硝酸	硝酸	有機物	飲料適否
井水	大正五年六月廿八日	大字幣舞町太田龜吉	—	—	中性	少量	微量	檢出セス	檢出セス	檢出セス	檢出セス	僅微	良
同	同	大字米町三浦德五郎	—	—	中性	少量	痕跡	檢出セス	痕跡	檢出セス	檢出セス	僅微	良
同	同	大字眞砂町武田榮一	—	—	中性	少量	微量	檢出セス	檢出セス	檢出セス	痕跡	僅微	良

當町飲料水ハ河南即チ淺橋方面ハ稍良好ナルモ河北西幣舞(戶數二千五百戶)方面ハ飲料適水ノ井戸僅カニニシテ大部分ハ河南ヨリ汲取リタル販賣業者ノ手ヲ經テ飲用スルノ狀況ニアリ

七、屠殺場ハ市内一、市外一アリ冬季一日平均三頭、夏季ハ二頭ノ屠牛馬豚ヲ爲シ生肉ヲ供給ス其ノ質良好ナルモ價格ハ比較的廉價ナラス、野菜ハ主トシテ近隣農家ヨリ供給サル、モ潤澤ナラス、果物トシテハ産出スルモノナシ、清涼飲料水製造業者一名アリテ「サイダ」「ラムネ」ヲ供給スルノ外他地方ヨリノ輸入品亦尠ラス

八、乗合馬車八臺、人力車四十臺、艇舟ハ營業者乗用七運送用六十アリ

九、公園豫定地一、劇場二、寄席一、活動寫眞常設館一、共同便所十アリ、公會堂内ニ劍路圖書館アリ

住民ノ氣風ハ良好ナラサル方ニシテ、物價ハ比較的高價ナル方ナリ

北海道根室郡根室町色丹郡斜古丹村

根室警察署(大正六年七月十六日調)

一、根室町戶數二千六百十九戶 人口一萬二千四百三十二人 斜古丹村戶數百七十五人 人口六百九十人

二、

最近五年間傳染病患者發生表

年次	痘列刺	赤痢	腸室扶私	チフス	痘疹	發疹	猩紅熱	實扶埵	亞里亞	ベスト	摘	要
大正元年	—	—	六五	—	—	—	—	一四	—	—	—	太字ハ斜古丹村
同二年	—	—	九	—	—	—	—	一〇	—	—	—	—
同三年	—	—	二二九	—	—	—	—	一〇	—	—	—	同
同四年	—	—	三四	—	—	—	—	一四	—	—	—	—
同五年	—	—	一二六	二	—	三	—	一二	—	—	—	—

本年一月ヨリ六月ニ至ル間ニ於テ腸室扶私六、實扶埵利亞十二發生セシモ皆全治シ目下傳染病患者ナシ

三、郵便電信局アリ、電話設備アリ、巡查派出所三、同出張所三、支廳、區裁判所、及地方支部、十勝監獄根室出張所一アリ

四、浴場一六、收容八百人位、旅館五三、同二千八人位、料理店二七、同上、娼妓六月三十日現在在二百十五名、私娼ナシ

- 五、病院三、收容定員五十三人、避病院一、同九、外ニ分院アリ、海岸ヨリ三百間位、設備稍完全ス
- 六、飲料水ハ根室町内ニ水道ノ設備アルノ外湧出井戸約四百ヶ所アリ、水質検査成績ハ一般ニ良好ナリ、下水ノ設備未タ不完全ナリ
- 七、生糧品トシテハ野菜類ノ内、馬鈴薯、葱、菜等ノ外ナシ、清涼飲料水ノ製造所ニアリ供給充分ナリ
- 八、車馬船舟ノ便アリ
- 九、

北海道釧路國厚岸郡厚岸町

北海道廳厚岸警察分署(大正六年七月十六日調)

- 一、戸數六百九戸 人口三千二十七人

- 二、既往數年間著シキ傳染病ノ流行ナシ、又地方病トシテ特ニ認ムヘキモノナシ

最近五年間傳染病患者發生表

年次	虎列刺	赤痢	腸室扶私	チフス	痘瘡	發疹	猩紅熱	實布	ペスト	摘	要
大正元年											
同二年											
同三年											
同四年											
同五年				五							

本年一月十三日腸室扶私患者一名發生假隔離病舎ニ收容同月二十八日全治爾來續發患者ナシ

- 三、郵便電信局アリ、電話設備アリ、厚岸警察分署、厚岸町役場アリ
- 四、浴場五軒、各戸一時二十五人ヲ收容スルヲ得、毎日午後三時ヨリ開始スルヲ例トス、旅館一等二戸 收容概數八十名、二等三戸同七十名、料理店一等一戸、二等二戸、三等五戸、妓樓六軒、公娼五十二名檢徴毎週一回(土曜日)、藝妓五名隔月一回町立厚岸病院ニ於テ健康診斷ヲ受クルモ檢徴ヲ行ハス、其他私娼ト認ムヘキモノナシ
- 五、町立厚岸病院一、收容人員十二名設備稍々完全、入院料一等一圓十錢、二等八十錢、三等六十錢外ニ食費一等六十錢、二等四十五錢、三等三十五錢、傳染病隔離病舎收容人員三名不完全ナルモ收容ニ支障ナシ、町立病院ハ埠頭ヨリ約五丁車馬ヲ通ス、開業醫三名何レモ患者收容ノ設備ヲ有スルモノナシ

- 六、水道ノ設備ヲ缺ク飲料水ハ悉ク水井ヲ使用シ、船舶ニ對シテハ給水設備ヲ有セス、下水ハ不完全ニシテ市街ノ兩側ニ木製開渠ヲ通シ市街ヲ横斷スル小川ニ放流ス

水質検査成績

種類	採取月日	採取場所	透明度	臭味	反應	クロール	石灰	モニア	硫酸	亞硝酸	硝酸	有機物	飲料適否
井水	大正六年七月十六日	清月町國泰寺	透明	無	中性	微量	無	無	無	無	無	無	適
同	同日	若竹町上田勘兵衛	透明	無	中性	微量	無	無	無	無	無	微量	適

- 七、市外ニ屠獸場一ヲ有シ冬季ハ一週一回ニ一頭又ハ二頭、夏季ハ一ヶ月ニ一回一頭屠牛ヲナシ生肉ヲ

供給ス其實良好ニシテ價格ハ比較的高價ナリ、野菜ノ供給ハ潤澤ト云フヲ得サルモ供給ニハ差闕ヘナク附近部落ニテ生産ス

八、乗合馬車人力車ナシ、艇舟八艘(乗用)、外ニ運送船二十艘アリ

九、公園ナシ、劇場一、玉突場一、大弓場一、共同便所三アリ、住民ノ氣風ハ稍々奢侈ニ流レ、物價ハ比較的高價ナリ

北海道國後郡泊村

國後警察分署(大正六年七月十五日調)

一、戸數百九十三戸 人口九百八十八人

二、泊港ハ勿論國後郡ハ從來著シキ傳染病ノ流行セシコトナク只郡内ニ往々腸窒扶私又ハ實布埜利亞ノ發生二三ヲ見ルコトアルノミ而シテ泊村ハ既往五ケ年間ニ於テ傳染病ノ發生ヲ見ス尙ホ地方病トシテ特ニ認ムヘキモノナシ

最近五年間傳染病患者發生表

年次	虎列刺	赤痢	腸窒扶私	チブス	痘瘡	發疹	猩紅熱	實布埜	ベスト	摘要
大正元年										那内米戸賀村一東沸村二發生全治
同二年										同留夜別村ニ於テ發生全治
同三年										
同四年										
同五年			一	二						同東沸村ニ於テ發生何レモ全治

備考 本表ハ泊港ニ於テ發生ノ患者ヲ掲記シタルモノニアラスシテ參考ノ爲メ國內各村ニ於テ發生シタル事實ヲ掲記シタルモノナリ

タル事實ヲ掲記シタルモノナリ

三、泊港ニハ泊外三村戸長役場、二等郵便電信局、國後營林區分署、國後警察分署等アリ

四、浴場一軒アルモ部内ハ多クハ各戸水風呂ノ設備アレハ毎日業ヲ開始スルモ入浴者ナキ爲メ隔日ニシテ一ケ月中十五日間開始毎日午後四時ヨリ午後九時迄ノ間ヲ通例トス一時ニ男女各約十名ヲ收容スルコトヲ得ル狭少ナル浴場トス、旅館ハ等級ノ差別ナク平等ニシテ二戸アリ收容概數約七十名、貸座敷ハ去ル大正五年五月中マテ一戸アリシモ土地年々衰頹振ハサル爲メ遊客少ク從テ維持不能ノ結果止ムヲ得ス廢業シタリ目下一戸モナシ、料理店二軒、藝妓一名、酌婦二名、雇婦三名アリ僻地ナルト業者少數ノ爲メ組合等ノ設ケナク當署ハ適宜必要ニ應シ健康診斷ヲ受ケシメ居レリ、藝妓、酌婦ハ何レモ料理店ニ寄寓シ私娼行爲アリ檢舉檢査ニ努メ時々之ヲ勵行シツ、アリ其他料理店以外ノ婦女ニシテ私娼ト認ムヘキモノナシ、貸座敷ノ設ケナキ爲メ私娼ハ年々増加ノ傾向アリ

五、公私立病院ナシ單ニ開業醫兼村醫一名アルモ患者收容ノ設備ナシ、避病院ナシ、假隔離病舎一ケ所アルモ僅カニ患者三名位ヲ收容シ得ルノミ、村醫診斷所迄舟付場ヨリ一町半アリ

六、水道ノ設備ヲ缺ク飲料水ハ悉ク井水ヲ使用シ、船舶ニ對シ給水設備ヲ有セス、下水ハ不完全ナル構造ニシテ排水ハ市街ヲ流ル、泊川ニ放流ス

水質檢査成績

北海道沿岸 北海道廳

三七九

種類	採取月日	採取場所	清濁色	臭味	反應	クロール	石灰	アミアム	硫酸	亞硝酸	硝酸	有機物	飲料適否
井水	大正二年四月十六日	國後郡泊	透明	無異狀	中性	〇.七	不檢出	痕跡	少量	不檢出	痕跡		適
同	同	同	透明	同	同	二.七八	多量	同	中量	同	少量		適

備考 本表ハ最良ノモノト稍々不良ト思料スヘキモノヲ檢査シタル結果適ハ最良水ニシテ不適ハ稍々不良ナリ

七、泊港ニハ屠獸場ナシ、冬季ニ於テ自家食用トシテ積三、四頭毎年屠殺スルノミ、泊港ハ勿論八島郡内ハ夏季ハ殊ニ濃霧深ク爲メニ氣候頗ル低温ナリ故ニ果物等ノ產出ヲ見ス他地方ヨリ多少ノ果物ヲ輸入スルノミ、清涼飲料水ノ製造者ナク是亦根室地方ヨリ輸入ス泊其他ノ部内ハ前記ノ如ク氣候低温ナレハ清涼飲料水ノ需用者從テ僅少ナリ、野菜等モ氣候不良ノ爲多量產出セスト雖モ他地方ヨリ供給ヲ求ムルコトナシ

八、乗合馬車及人力車等ナシ人馬繼立業三、舩舟三アリ

九、公園又ハ遊覽スヘキ地ナシ、住民ハ一般ニ質朴ニシテ氣風ハ概シテ奢侈ニ流レ居ル傾向アリ其ノ理由トシテハ山間僻地ノ爲メ住民ノ娛樂的ノモノ更ニナク爲メニ高價ヲ厭ハス美食又ハ衣類等ニ奢リヲ爲スノ風アリ、交通ハ頗ル不便ニシテ毎年五月ヨリ十一月迄ノ間ニ於テ毎月四回根室港ヨリ定期船航行スルモ其以外ハ臨時船來ルノ外船便ナシ冬季ハ海面氷結スルヲ以テ約三ヶ月航海社絶ノ状態ナリ、諸物價モ他地方ト比較スルニ於テハ二三割高價ナリトス

北海道網走郡網走町

網走警察署(大正六年七月十八日調)

一、戸數(網走町大字北見町)千十一戸 人口五千二百四十二人

二、既往數年間著シキ傳染病ノ流行ナシ、地方病トシテ特ニ認ムヘキモノナシ

最近五年間傳染病患者發生表

年次	コレラ	赤痢	腸チフス	チフス	痘瘡	發疹チフス	猩紅熱	デリアフ	ペスト	摘要
大正元年									三	
同 二年										
同 三年								四		
同 四年								四		
同 五年				二						

本年ニ入り腸チフス患者一名モ發生セス

三、郵便電信局アリ、電話ノ設備アリ、巡查派出所救難所ナシ

四、浴場五軒各戸一時ニ約十五名ヲ收容スルヲ得毎日午前六時ヨリ開始スルヲ例トス、旅館一等三戸、收容概數百二十名、二等五戸七十五名、三等八戸百名、計二百九十五名、料理屋一等二戸、二等四戸、妓樓八軒、公娼妓五十名、檢査毎週一回(土曜日)、藝妓十五名、毎年春秋二回醫師ノ健康診斷ヲ受クル外警察官署ハ必要ニ應シ健康診斷書ノ提出ヲ命スルコトアリ其他私娼ト認ムヘキモノナシ

五、私立病院三、收容人員網走病院約二十五名、相馬病院八名、再春堂病院十二名、設備稍完全ナリ入院料一等一圓七十錢、二等一圓二十錢、三等八十錢、隔離病舎一、收容人員二十名稍完全ニシテ收容

ニ支障ナシ、網走病院ハ埠頭ヨリ約四町相馬病院ハ三町、再春堂病院ハ八町車馬ヲ通ス、開業醫五名(病院勤務ノモノヲ含ム)アリ

六、水道ノ設備ナシ飲料水ハ悉ク井水ヲ使用シ、船舶ニ對シ給水設備ヲ有セス、下水ハ中通兩側ニ石ヲ以テ開渠ヲ通スルモ底ナク停滞セリ

水質検査成績

種類	採取月日	採取場所	清濁	臭味	反應	クロール	石灰	アモニアム	硫酸	亞硫酸	硝酸	有機物	飲料適否
井水	六月二十日	中通四丁目	清	ナシ	中性	三五・〇	不明	ナシ	微量	ナシ	ナシ	七・九	煮沸飲料
同	同	南通四丁目	同	同	同	二一・〇	同	ナシ	同	ナシ	ナレ	四・七	適
同	同	中通九丁目	同	同	同	二五・〇	同	痕跡	同	中量	ナシ	一一・〇	不適

當地ニ於テハ海岸ニ近キ處ハ比較的の不良ニシテ山手ニ至ル程良ナリ

七、市外ニ屠獸場一ヲ有シ冬季ハ一日多キハ三、四頭少キハ隔日二頭位屠殺ス夏季ハ殆ト屠牛セス其質中等ニシテ價格ハ百目三十五錢位ナリ、野菜ノ供給ハ潤澤ニシテ近隣町村ニ於テ多量ニ生産ス

八、乗合馬車二、人力車一、艇舟八艘アリ

九、公園ナシ、劇場一、寄席二、共同便所三、公共團體ノ事業トシテ網走圖書館一アリ、住民ノ氣風ハ一般ニ奢侈ニ流ル、傾キアリ、物價ハ比較的高價ナリ

北海道北見國紋別郡紋別村大字紋別村

紋別警察分署(大正六年七月二十日調)

一、戸數六百三十一戸 人口三千三百六十八人

二、既往數年間著シキ傳染病ノ流行ナシ、地方病トシテ特ニ認ムヘキモノナシ

最近五年間傳染病患者發生表

年次	大正元年	二年	三年	四年	五年
虎列刺	一七	一	六	三一	四
赤痢	一	一	一	一	一
腸室扶私	一	一	一	一	一
チバラス	一	一	一	一	一
痘瘡	一	一	一	一	一
發疹	一	一	一	一	一
室扶私	一	一	一	一	一
猩紅熱	一	一	一	一	一
實布	一	一	一	一	一
里亞	一	一	一	一	一
ベスト	一	一	一	一	一
摘	一	一	一	一	一
要	一	一	一	一	一

本年腸室扶私患者及其他傳染病患者發生ナシ(大正元年ニハ明治四十五年ヲ含ム)

三、郵便電信局アリ、電話設備アリ

四、浴場二軒、各戸一時ニ約二十五名ヲ收容スルヲ得毎日正午十二時ヨリ開始スルヲ例トス、旅館八軒 收容概數合計二百名、料理店七軒、妓樓一軒公娼七名檢査毎週一回(土曜日)、藝妓五名毎月一回組合 醫師ノ健康診斷ヲ受クルト同時ニ檢査ヲ行フ、其他私娼ト認ムヘキモノナシ、料理店及ヒ旅館ハ等級 ナシ

五、私立病院ナシ、假隔離病舎一收容人員五十名設備完全ナリ、開業醫三名内患者收容ノ設備ヲ有スル モノ二名收容人員二十名

六、水道ノ設備ヲ缺ク飲料水ハ悉ク井戸ヲ使用シ船舶ニ對シ給水設備ヲ有セス下水ハ不完全ニシテ各街



路ノ兩側ニ木製開渠ヲ通シ海ニ放流ス

水質検査成績

種類	採取月日	採取場所	清濁色	臭味	反應	クロール	石灰	ア モ ニ ア ム	硫酸	亞硝酸	硝酸	有機物	飲料適否
井戸	大正五年五月一日	紋別村	無色透明	無	中性	八七	微量	無	無	無	無	三五七	適
井戸	大正五年五月一日	紋別村	無色透明	無	中性	三五	微量	無	無	無	無	二五七	適

本表各成分量ハ水一リットル中ニ含有スルミリ瓦量ヲ以テ示ス

七、市外ニ屠獸場一ヲ有ス冬季ハ四日一頭、夏季十五日ニ約一頭ノ屠牛馬ヲ爲シ生肉ヲ供給ス其質良好ニシテ價格普通ナリ、野菜ノ供給ハ潤澤ニシテ近隣村ニ於テ多量ニ生産ス

八、乗合馬車十、艇舟五、人力車ナシ

九、公園ナシ、劇場一、活動寫眞常設館ナシ、共同便所ナシ、公共團體事業ナシ、住民ノ氣風ハ普通ニシテ、物價ハ比較的高價ナリ

北海道宗谷郡稚内町字稚内

宗谷警察署(大正六年七月廿日調)

一、戸數八百五十三戸 人口四千三十五人

二、既往數年間著シキ傳染病ノ流行ナシト雖モ偶々小兒ノ實布埤利亞ニ罹ルモノアリ、地方病トシテハ俗ニ「ガツチャキ」ト稱スル病ニ類スルモノアルモ極メテ少シ

最近五年間傳染病患者發生表

年次	大正元年	同二年	同三年	同四年	同五年
虎列刺					
赤痢					
腸室扶私		一			
チフス					
痘瘡					
發疹					
室扶私					
猩紅熱					
實布埤利亞					一四
ベスト					
摘					
要					

本年腸室扶私患者ナシ

三、稅務署、裁判所、支廳、警察署、小學校、町役場、郵便電信局、營林區分署、稅關監視署、燈臺、

水産試驗場宗谷支場アリ電話ノ設備アリ

四、浴場三軒、各戸男女一時ニ各々五十名ヲ收容シ得(合計一時ニ男女合シテ三百名)毎日午前五時頃ヨリ開始スルヲ例トス、旅館一等二戸收容人員五十五名、二等七戸收容人員百五十名、三等五戸收容人員五十名、料理店五戸一、二等ノ別ナシ、藝妓九名必要ニ應シテ健康診斷ヲ爲ス、妓樓一軒公娼四名檢査毎週土曜日一回、私娼ハ蔓延セス

五、私立病院ナシ、避病院ナシ、町立隔離病舎一、收容人員約二十名、設備不完全ナルモ收容差支ナク海岸ヨリ約十丁餘アリ、開業醫三名ニシテ患者收容ノ設備ナシ

六、南北兩水源ヨリ木造水道ヲ設ケ市街地ニ給水シ飲料及雜用ニ供ス、飲料水ハ悉ク此ノ木造水道水ヲ使用ス、船舶ニ對シ給水設備ヲ有セス下水ハ不完全ナルモ各街路ノ兩側ニ木製開渠ヲ通シ海中ニ放

水質検査成績

種類	採取月日	採取場所	透明度	臭味	反応	クロール	石灰	モニヤム	硫酸	亞硫酸	硝酸	有機物	飲料適否
飲料水	大正二年十月十四日	稚内北水源	透明	ナシ	中性	微量	ナシ	微量	ナシ	痕跡	五八	適	適
同	同	南水源	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同

七、市外ニ屠獸場一ヲ有シ冬期ハ一ヶ月約十頭ヲ屠牛スルモ、夏期ハ屠牛セス、但シ需用ニ應シ何程ニテモ屠牛シ得(夏ト雖モ)肉質普通ニシテ價格比較の廉ナリ、野菜ハ夏期ハ潤澤ニシテ附近ニ於テ多量ニ産スルモ冬期ハ全ク生産セス

八、乗合馬車一、人力車一、舩舟十四艘

九、公園ナシ、劇場二、公共團體ノ事業トシテ日進文庫ト稱スル圖書館アリ、住民ノ氣風ハ一般ニ連年不漁ニ鑑ミ質素ヲ守ル、物價ハ交通不便ノ故ヲ以テ比較的高價ナリ

北海道天鹽郡天鹽村

天鹽警察分署(大正六年七月十四日調)

一、戸數一千四百三十戸 人口七千〇五人

二、既往數年著シキ傳染病ナシ、地方病トシテ特ニ認ムヘキモノナシ

最近五年間傳染病患者發生表

年次	虎列刺	赤痢	腸室扶私	チフス	痘瘡	チフス	猩紅熱	實利亞布	ベスト	摘	要
大正元年			三					五			チフテリア五名中死亡二名アリ
同二年			一					四			全部全治
同三年				二				一			同
同四年								五			患者五名中死亡二名アリ
同五年											

三、

四、浴場四軒、各戸一時ニ約六十名ヲ收容スルヲ得、毎日午前七時ヨリ開始スルヲ例トス、旅館一等一

戸收容概數五十六名、二等四戸同百三十名、三等二戸同五十五名、計二百四十一名、料理店十九戸(等級ナシ)、藝妓七名毎月二回組合醫師ノ健康診断ヲ受クルモ檢微ヲ行ハス、其ノ他私娼ト認ムルモノナシ

五、

六、

七、市外ニ屠獸場一ヲ有シ冬期ハ一日二頭(夏季ナシ)ノ屠畜ヲナシ生肉ヲ供給ス其質良好ニシテ價格モ亦廉ナリ、野菜ノ供給ハ潤澤ニシテ天鹽市街地附近ニ於テ多量ニ生産ス

八、舩舟七艘アリ、車馬ナシ

九、劇場二アリ、住民ノ氣風ハ一般ニ奢侈ニ流レ、物價ハ比較的高價ナリ

北海道苫前郡羽幌村

羽幌警察分署(大正六年七月十五日調)

- 一、戸數一千四百三十六戸 人口七千八百五十三人
- 二、腸窒扶私及實扶の里ハ各年トモ多少ノ發生ヲ見ルモ赤痢ハ大正四年中十三名發生シ其前後ニ發生シタルコトナシ又特ニ地方病ト認ムヘキモノナシ

最近五年間傳染病患者發生表

年次	大正元年	同二年	同三年	同四年	同五年
赤痢	二	五	一	一	五
腸窒扶私	一	一	一	一	一
腸窒實扶	一	一	一	一	一
赤痢	二	五	一	一	五
腸窒扶私	一	一	一	一	一
腸窒實扶	一	一	一	一	一
合計	四	七	三	三	七

赤痢患者ハ大正四年中十三名發生シ假隔離病舎ニ收容治療シ死者三名ヲ出シタルモ前後ニ同病ノ發生ナシ

- 三、郵便電信局、警察分署、村役場、區裁判所出張所(登記所)、帝室林野管理局出張所アリ、電話ハ未設置ナリ

四、浴場三軒各戸一時ニ約十七名ヲ收容シ得、毎日午前九時頃ヨリ開始スルヲ例トス、旅館一等ト目スヘキ程度ノモノ二戸收容概數五十二名、二等ト目スヘキモノ三戸收容概數四十四名トス、料理店ハ九ニ

シテ一二等ノ定メナキモ上等ナルモノニ其他七ハ普通トス、妓樓三軒公娼十一名檢査ハ毎週土曜トス、藝妓十名健康診断日ナキモ必要ト認メタルトキハ指定シタル醫師ノ診断書ヲ提出セシメツ、アリ取テ檢査ヲ行ハス、其他私娼ト認ムヘキモノハ各料理店ニ寄寓スル藝妓酌婦カ遊客ニ淫賣スルコトアルモ極メテ少數ニシテ專業的ノ私娼ナク取締嚴ナルヲ以テ蔓延セス

五、私立羽幌病院一アリ收容人員十名設備完全ト謂ヒ難キモ支障アルニ非ス、入院料ハ一等一圓五十錢、二等一圓二十錢、三等八十錢トス、隔離病舎一アリ其收容人員約十名設備不完全ナルモ收容上差間ナシ、羽幌病院ハ埠頭ヨリ約三町道路完全ニシテ車馬ニ適ス、開業醫二人アルモ患者收容ノ設備ナシ

六、水道ノ設備ヲ缺キ飲料水ハ悉ク井水ヲ使用ス、船舶ニ對シ給水設備ヲ有セス、下水ノ設ケアルモ不完全ニシテ市街兩側ニ木製開渠ヲ通シ疏通全ラズ市街中央ヲ流ル、羽幌川並ニ海ニ放流スルハ僅ニ一部ニ過キス

水質検査成績

種類	採取月日	採取場所	清濁色	臭味	反應	クロール	石灰	モニアム	硫酸	亞硝酸	硝酸	有機物	飲料適否
井水	大正二年十一月廿三日	羽幌村南二條一丁目井戸	無色透明	無臭無味	中性	微量	微量	無	痕跡	無	微量	微量	適

七、市外ニ屠殺場一ヲ有シ冬季ハ一日一二頭、夏季ハ屠殺スルコトナキモ其質良好ニシテ價格普通ナリ野菜ハ當村及近村ニ多量產出ス、果物清凉飲料水等ハ土地及附近ニ產出セサルモ米麥其他普通穀類ハ潤澤ナリ

- 八、乗合馬車二、乗用艇舟二、運送艇舟二、人馬車繼立業者四十名アリテ馬車馬糧ヲ設備ス
- 九、劇場ノ常設一アリ、共同便所、公園、公共團體ノ事業ナシ、青年會ハ市街地及部落ニ多數設立シ常ニ文武ニ精勵シ日ニ増シ向上ノ傾向アリ、住民ハ一般ニ經財的ナルモ同情心ナク勤勉家少シ殊ニ濃厚ニシテ思想ノ高尚ト認ムヘキモノナシ、冬期外ハ汽船便アルモ鐵道ノ敷設ナク土地生産品ノ外ハ物價比較的高價ナリ

北海道枝幸郡頓別村、枝幸村

枝幸警察分署(大正六年七月十五日調)

- 一、戸數三千七百七十九戸 人口一萬六千八百四十六人
- 二、既往數年間著シキ病トシテハ腸窒扶私、實扶埤利亞ニシテ地方病トシテ特ニ認ムヘキモノナシ

最近五年間傳染病患者發生表

年次	大正元年	二年	三年	四年	五年
虎列刺					
赤痢					
腸窒扶私				五	二五
チフス				二	一
痘瘡					
發疹					
室扶私					
猩紅熱					
實布埤利亞		八	一〇	一〇	一五
ベスト					
摘					
要					
		男三人 女五人	男四人 女六人	男七人 女三人	腸窒扶私男十六人 女九人 實布埤利亞男七人 女八人

- 本年七月腸窒扶私患者三人發生隔離ス爾來續發患者ナシ
- 三、郵便電信局二(枝幸、頓別)、巡查駐在所六、救難所ナシ、郵便局一(中頓別)

- 四、浴場十一軒各戸一時二十四名ヲ收容スルヲ得、毎日午後二時ヨリ開始スルヲ例トスルモ中ニハ毎日午前七時ヨリ開始スルモノアリ、旅館一等五戸收容概數三百五十人、二等三十戸九百人、三等二十七戸八百十人、料理店一等ナシ、二等二十戸、三等十一戸計三十一戸アリ、妓樓五軒公娼三十四名、檢徴毎週土曜日、藝妓十五人、毎月一回組合醫師ノ健康診斷ヲ受ケ、同時ニ檢徴ヲ受ケ、其他ノ私娼ナシ
- 五、私立病院一收容人員五人、設備稍々完全入院料一圓五十錢及八十五錢、避病院ナシ、茂呂田鐵藏私立病院ハ枝幸村字枝幸車馬ヲ通スル街路ノ一側ニ在リ、開業醫八名患者收容ノ設備ヲ有スルモノナシ
- 六、水道ノ設備ヲ缺ク飲料水ハ悉ク井水ヲ使用シ、船舶ニ對シ給水設備ヲ有セス、下水ハ不完全ニシテ各街路ノ兩側木製開渠ヲ通シ海岸ニ通ス、水質検査ヲ爲シタルコトナシ
- 七、市街外ニ屠獸場一ヲ有シ冬季ハ一ヶ月二三頭屠殺ヲナシ、夏季ハ屠殺セス其實良好ナラス價格ハ比較的高價ナリ、野菜ノ供給ハ潤澤ニシテ近隣部内ニ於テ多量ニ生産ス
- 八、乗合馬車ナシ、人力車ナシ、艇舟八艘アリ
- 九、公園ナシ、劇場ナシ、活動寫眞常設館、共同便所ナシ、私設成年圖書館アリ、住民ノ氣風ハ一般ニ質素ニシテ、物價ハ比較的高價ナリ

北海道留萌郡留萌町(市街地)

留萌警察分署(大正六年七月十五日調)

- 一、戸數一千五百七十七戸 人口六千五百四十一人
- 二、既往數年間著シキ傳染病ノ流行ナシ、地方病トシテ特ニ認ムヘキモノナシ



北海道増毛郡増毛町

増毛警察署(大正六年七月十七日調)

- 一、戸數九百五十戸 人口四千三百二十九人
- 二、既往數年間著シキ傳染病ノ流行ナキモ最近年々一、二名ノ腸窒扶私患者ノ現出アリ、地方病トシテ特ニ認ム可キモノナシ

最近五年間傳染病患者發生表

年次	虎列刺	赤痢	腸窒扶私	チバラス	痘瘡	癩疹	猩紅熱	質布	ベスト	摘要
大正元年			三					二二		
同二年			一				一九			
同三年			四				一六			
同四年			九				一〇			
同五年			八				七			

- 本年三月中腸窒扶私患者一名發生隔離病舎ニ收容中ノ處四月九日轉歸(全治)ス、猶ホ本年三、五月ノ二回ニ實扶埵利亞患者四名發生隔離中ノ處同月中轉歸ス以後續發患者ナシ(本表ハ増毛町市街地ニ於ケル諸患者ヲ計上セルモノニテ市街地外村落ヲ計數セス)
- 三、郵便電信局アリ、電話設備アリ、巡查派出所ナシ、救難所ハ目下組織中ニテ不日實現ス
  - 四、浴場二軒各戸共(男女)計一時ニ約四十名ヲ收容スルヲ得、毎日午前八時頃ニ開始スルヲ例トス、當町旅館トシテハ別ニ一、二等ノ區別ナク唯單ニ旅人宿三戸、木賃宿一戸ニ過キス、其内上位ノ旅館一戸

- 收容概數三十名、他ノ旅館二戸收容概數二十六名、計三戸五十六名、他ニ木賃宿一戸收容概數八名、料理店ニ於テモ別ニ一、二等ノ區別ナク其ノ戸數十二軒、妓樓二軒公娼六人檢徴毎週一回(土曜日)、藝妓十四名、隔月一回組合醫師ノ健康診斷ヲ受クルモ檢徴ヲ行ハス、其ノ他ニ私娼ト認ム可キモノナシ
- 五、私立病院一、收容人員一等一室一人、二等十二室十二人、特別三等一室一人、三等二室四人、計十八人、入院料、一等壹圓八拾錢、二等壹圓參拾錢、特別三等壹圓、三等八拾錢、設備ハ概シテ完全ナリ、避病院一、收容人員六人、設備不完全ナルモ收容ニ支障ナシ、開業醫一名ニシテ患者收容ノ設備ヲ有セス、私立病院ハ海岸ヲ距ル約二丁、私立病院開業醫ノ場所共ニ市街ノ中央ニ在リ交通最モ便利ナリ
  - 六、水道ノ設備ヲ缺ク飲料水ハ悉ク井水ヲ使用シ、船舶ニ對シ給水設備ヲ有セス、下水ハ不完全ニシテ各街路ノ兩側ニ木又ハ石ヲ以テ開渠ヲ通シ市街ノ中央ヲ流ル、河川ニ放流ス

水質檢査成績

種類	採取月日	採取場所	清潔色	臭味	反應	クロール	石灰	アムモニア	硫酸	亞硫酸	硝酸	有機物	飲料適否
湧水	大正六年六月七日	増毛町大字	透明	ナシ	中性	二七〇分中二	ナシ	檢出セス	痕跡	檢出セス	無	檢出セス	良水
湧水	同月八日	同	清潔	ナシ	中性	七〇分中二	ナシ	檢出セス	痕跡	檢出セス	無	檢出セス	良水
湧水	同月八日	同	清潔	ナシ	中性	九〇分中二	ナシ	檢出セス	微量	檢出セス	檢出セス	檢出セス	良水

七市外、ニ屠獸場ナシ生肉ハ他ヨリ供給ス價格ハ平均高價ナリ、果物野菜類等ハ近隣村落ニ於テ生産シ

當町ノ需要ニ充ツルニ過キス、其内林檎ハ多少他ニ産出スルモ其額極メテ少シ  
 八、乗合馬車二、舢舨六艘、人力車ナシ  
 九、公園ナシ、劇場一、活動寫眞常設館ナシ、共同便所三、住民ノ氣風ハ一般ニ奢侈ニ流レ物價ハ比較的  
 的高價ナリ

北海道石狩郡石狩町大字石狩町

石狩警察分署(大正六年七月十六日調)

一、戸數七百四十二戸 人口四千二十三人

二、

最近五年間傳染病患者發生表

年次	大正元年	二年	三年	四年	五年
虎列刺					
赤痢					
腸チフス					
チフス	四	九	一七	三	四
痘瘡	一	一	六		
チフス疹					
猩紅熱				二	
實布					
埃里亞					
ベスト					
摘					
要					
本年再歸熱患者一名アリ					

三、郵便局アリ、公衆電話ノ設備アリ、警察分署、町役場、札幌區裁判所石狩出張所、巡查駐在所、石狩燈臺、石狩川口航路標識常置員派出所アリ

四、浴場三軒内二軒ハ一時ニ約五十名ヲ收容スルヲ得、一軒ハ約四十名ヲ收容スルヲ得ヘシ毎日午前七

時ヨリ開始スルヲ例トス、旅館ハ一等一戸收容概數二十名、三等四戸百名、計百二十名、料理屋一  
 一戸、三等五戸、公娼ヲ稼業トスル貸座敷二軒アリ、娼妓合計十一名アリ、毎週一回(土曜)、檢査及  
 警察醫ノ健康診斷ヲ受ク、藝妓二名時ニ健康診斷書ノ提出ヲ命スルノミ、私娼ト認ムヘキモノハ二名  
 アルノミ

五、私立病院一、收容人員四名設備完全ナリ、入院料一円二十錢、二等一圓二十錢、三等九十錢、避病院  
 ナキモ隔離病舎ノ設備アリ患者六名ヲ收容スルニ足ル消毒器蒸氣釜等略ホ整頓ニ近シ、私立石狩病院  
 及ヒ隔離病舎ハ石狩川口ヨリ凡十丁海岸ヨリ約二丁道路平坦ニシテ車馬ヲ通ス、石狩病院ノ外ニ開業  
 醫ナシ

六、水道ノ設備ナク井水ヲ使用ス石狩川ニ添フタル砂地ニ於テ隨所ニ鑿井シ住民ノ需用トス、船舶ニ對  
 スル給水設備ヲ有セス、下水ノ設備ナク汚水ハ砂層地ニ浸潤セルニ任セツアル状態ナリ、水質檢査  
 ヲナシタルコトナシ

七、屠獸場ナク獸肉ハ札幌ヨリ供給ヲ受クルカ故廉ナラス、生魚トシテハ四月ヨリ七月中頃マテ鱈、九  
 月以降十二月マテ鮭アリ他ノ雜魚ハ多カラス、野菜ノ地方供給ハ潤澤ニシテ附近農村ニ於テ多量ニ生  
 産ス

八、乗合馬車三臺、人力車ナシ、沿海航路ノ客船ナキカ故ニ舢舨ナシ小形小廻船ハ石狩川ニ碇泊シ舢舨  
 ノ用ナシ若シ大形汽船ヨリ荷物ヲ陸揚スル場合ニハ川崎形漁船ヲ使用ス其ノ數五アリ

九、住民ノ氣風トシテハ往時石狩川鮭漁ノ豊富ナリシ頃ニ於ケル氣風今尙隋力ヲ存ス漁撈産額ハ年々衰

退ニ嚮フモ他ニ挽回ノ策ヲ講セス現今ハ風殆ト漁村ノ状態ニシテ敢テ奢侈ノ風ナシ、而シテ諸物價ハ比較的廉ナラス

北海道後志國小樽區

小樽警察署(大正六年七月三十一日調)

- 一、戸數一萬七千八百四十九戸 人口八萬三千七十八人
- 二、大正三年同四年中稍々多數ノ「バラチフス」、腸チフス、發疹チフスノ發生アリシモ爾來著シキ發生ナシ、客年コレラ病ノ發生アリシモ患者ハ何レモ汽船乗組者ノミニシテ區民ニ傳染セシモノナシ、又客年赤痢ハ稍々多カリシモ現時ハ然ラス、本年ハ豫防上特ニ客年發生ノ患者ヲ中心トシ附近千餘名ノ糞便檢鏡及健康診斷ヲ施行シツツアルモ僅ニ保菌者一名ヲ發見シタルノミ、流行病、地方病ナシ

最近五年間傳染病患者發生表

年次	コレラ	赤痢	腸チフス	チフス	痘瘡	發疹チフス	猩紅熱	チリア	ベスト	摘	要
大正元年		五	五六					五七			
同二年			六四					六七			
同三年		二三	七五	一一四		一五一	四	八七			
同四年		七一	一七七	一三一		四二		八五			
同五年	一〇	八三	九二	五三			六	五三			

本年度各種傳染病發生患者ハ「チフス」三九、赤痢五、腸チフス一八、バラチフス一七、猩紅熱五、ニシテ内最近七月中ノ發生ハ「チフス」五、腸チフス四、バラチフス七、猩紅熱二、赤痢三ニシテ、

現況ニ於テハ蔓延流行ノ徴ナシ

- 三、郵便局一、無集配郵便局六、稅務署一、區役所一、裁判所一、貯金管理局小樽支局一、小樽警察署
- 一、稅關支署、遞信局海事部出張所、水上警察署、專賣局出張所アリ
- 四、浴場六十二各戸一時ニ約三十名ヲ收容シ得ヘク毎日午前五時ヨリ午後十一時迄開場スルヲ例トス、但シ毎月十七日ハ各戸共休業ス、旅館一等九收容概數七百四十八、二等十五收容概數四百五十八、三等二十九收容概數四百三十五、料理店一等六、二等二十六、三等二十七、四等二十九、貸座敷ハ當區ノ南北端ニケ所ニ分タレ南廓妓樓十六、公娼百十、毎週一回土曜日ニ、北廓妓樓十四、公娼八十、毎週一回木曜日ニ何レモ警察醫檢徴ヲ行フ、藝妓三百三十、組合ノ設ケアルモ健康診斷檢徴等ハ行ハス、私娼ト認ムヘキモノ約二百四十名アリ
- 五、私立病院二十五、此患者收容力四百八十九、入院料凡ソ一等二圓、二等一圓五十錢、三等一圓ニテ備設何レモ完全ナリ其ノ内主ナルモノハ量徳町小樽病院ニシテ設備最モ整頓シ且ツ患者百〇五名ヲ收容シ得ヘシ、入院料ハ特等三圓、二等甲二圓二十錢、乙一圓八十錢、三等甲一圓三十錢、乙一圓ニシテ埠頭ヨリノ距離約二十丁此間車馬ヲ通ス、又埠頭ニ最モ近接スルハ稻穂町植田病院ニシテ約三丁、設備稍完全患者十六ヲ收容シ得ヘシ、入院料ハ一等二圓、二等一圓五十錢、三等一圓、車馬ヲ通ス其他ノ病院ハ何レモ大差ナク各車馬ヲ通ス、當區ノ西北長橋町ニ小樽區傳染病院アリ設備完全患者百〇三名ヲ收容スルヲ得海岸ヨリ約二十五丁餘ノ距離アリ、開業醫二十五(但シ開業醫ニシテ病院開設者及病院勤務ノモノヲ含マス)患者收容ノ設備ナシ



六、水道ノ設備完全ニシテ當區飲料水ノ多クハ之ヲ使用ス、船舶ニ對シテハ海岸ニ船舶給水所ノ設置アリ、下水道ノ設備ナキモ主要ナル街路ハ石材開渠ヲ通シ其他ハ木製開渠ニ由リテ市ノ中央及南北兩方ニ流ル、於古後川及勝納川色内川ニ放流ス

水質検査成績

種類	採取月日	採取場所	清濁色	臭味	反應	クロール	石灰	ニアム	硫酸	亞硝酸	硝酸	有機物	飲料適否
水道水	大正六年七月十三日	水源池	清	無	弱アルカリ性	一四・〇	〇・五	檢出セス	檢出セス	檢出セス	檢出セス	カメレオン	適

七、市内ニ屠殺場一アリ冬季ハ一日約五、六頭、夏季ハ毎日約二、三頭宛ヲ屠牛シ生肉ヲ供給ス其價一定ナラサルモ概シテ廉價ニシテ其品質モ亦良好ナリ、果物野菜ハ當區及近隣町村ニ多量ノ生産アリ何レモ供給潤澤ナリ、清涼飲料水ハ規模稍大ナル工場ニ其他製造場四ヲ有シ供給力最モ豊富ナリ

八、乗合馬車四〇、人力車一三七、自働車一、艇舟(乗船用荷物用共)二八五

九、當區ノ中央ニ花田公園、北部ニ手宮公園アリ、劇場二、活動寫眞常設館六、共同便所十八、住民ノ氣風ハ一般ニ稍々奢侈ニ流ル、ノ傾アリ、又物價ハ比較的高價ナル感アリ

北海道壽都郡壽都町

壽都警察分署(大正六年七月十三日調)

一、戸數一千二百七十九戸 人口六千七百四十八人

二、既往數年間著シキ傳染病ノ流行ナシ、地方病トシテ特ニ認ムヘキモノナシ

最近五年間傳染病患者發生表

年次	虎列刺	赤痢	腸炎	チフス	痘瘡	發疹	猩紅熱	實布	ベスト	摘	要
大正元年				二							
同二年				一							
同三年				一八		一					
同四年				二六					五		
同五年				二					三		

本年六月末日ニ至ル迄實扶的里亞患者二名アリシモ轉歸シ收容患者ナシ

三、郵便局アリテ電話設備アリ、警察分署、水難救濟所、稅務署、町役場、測候所等アリ

四、浴場四軒各戸一時二十名ヲ入浴セシムルコト得、毎日男湯ハ午前七時ヨリ女湯ハ正午ヨリ入浴セシムルヲ例トス、旅館一等ナシ二等三戸收容概數各五十名、三等二戸收容概數各三十名、木賃宿一戸收容概數十五名、計六戸收容概數二百二十五名、料理屋一等三戸ニシテ其ノ内二戸ノ收容概數百五十名、一戸ハ收容概數百名、二等三戸各收容概數五十名、三等九戸收容概數各二十名、妓樓三戸、公娼二十一名檢微毎週一回(土曜日)、藝妓二十六名ニシテ年三回(三月七月十二月)組合醫ノ健康診斷ヲ受ケ同時ニ檢微ヲ行フ、其ノ他私娼ト認ムヘキモノナシ

五、壽都町立病院一アリ收容人員三十四名設備稍完全ナリ入院料一等一圓六十錢、二等一圓二十錢、三等八十錢、私立病院ナシ、避病院一、收容人員六名、設備不完全ナルモ收容ニ支障ナシ、壽都町立病院ハ埠頭ヨリ約二丁ニシテ車馬通行ノ便アリ、開業醫齒科醫等四名、何レモ患者收容ノ設備ヲ有スル

モノナシ

六、水道ノ設備ヲ缺キ飲料水ハ悉ク井水ヲ使用ス、船舶ニ對シテハ給水設備ヲ有セズ、下水ハ完全ニシテ各街路ノ兩側ニ木製開渠ヲ通シ市街ノ中央ヲ流ル、川ニ放流ス

水質検査成績

種類	採取月日	採取場所	清濁色	臭味	反應	クロール	石灰	ニアム	硫酸	亞硝酸	硝酸	有機物	飲料適否
井水	大正五年六月廿日	支那井戸	清	ナシ	ナシ	中量	ナシ	ナシ	ナシ	ナシ	ナシ	少量	適
同	同	支那井戸	清	ナシ	ナシ	中量	ナシ	ナシ	微量	ナシ	ナシ	少量	適
同	同	支那井戸	清	ナシ	ナシ	中量	ナシ	ナシ	微量	ナシ	ナシ	少量	適

七、市外ニ屠獸場一ヲ有スルモ屠獸場クシテ冬期ニ一ヶ月四、五頭、夏季ハ殆トナシ生肉ノ質良好ニシテ價格從テ高價ナリ、野菜ノ供給ハ潤澤ニシテ近村ニ於テ多量ニ生産ス

八、乗合馬車七、人力車ナシ、艇舟六艘アリ

九、公園ナシ、劇場一、共同便所二、住民ノ氣風ハ一般ニ奢侈ニ流レ、物價ハ比較的高價ナリ

北海道岩内郡岩内町

岩内警察署(大正六年八月七日調)

一、戸數二千六百八十四戸 人口一萬四千五百二十七人

二、既往數年間著シキ傳染病ノ流行ナシ、地方病トシテ特ニ認ムヘキモノナシ

最近五年間傳染病患者發生表

年次	虎列刺	赤痢	腸室扶私	チバラス	痘瘡	發疹	猩紅熱	實布	ベスト	摘要
大正元年	一	二五	一〇					一三		明治四十五年度分ヲ含ム
同二年	三	一〇	八				一	二		
同三年		四四	八			(疑似)五		一五		
同四年		一六	四				三	一二		
同五年		四					四	六		

本年一月以來腸室扶私患者七名發生避病舎ニ收容目下續發ノ模様ナシ

三、郵便電信局アリ、電話設備アリ、巡查派出所、救難所アリ

四、浴場十三軒各戸一時ニ二十五名ヲ收容スルヲ得、毎日午前六時ヨリ開始ス、旅館一等三戸收容概數五十五名、二等十二戸同百五人、三等七戸同六十四人、計二百二十四名、料理店一等二戸、二等四戸三等十九戸、計二十五軒、妓樓五軒公娼三十三名檢査毎週土曜日一回、藝妓二十九名毎月一回組合ニ於テ醫師ノ健康診斷ヲ受クルモ檢査ヲ行ハス、其他私娼ト認ムヘキモノナシ

五、私立病院七收容人員泉病院十名、梁川病院十二名、橋本病院三名、濟生病院七名、岩内病院六名、黑澤病院六名、前田病院四名、設備不完全ナリ、入院料一等二圓、二等一圓五十錢、三等一圓、避病院ナシ隔離病舎一アリ收容人員十五名、泉病院ハ埠頭ヨリ約四町、梁川病院約五丁、橋本病院約五丁、濟生病院約五丁、岩内病院約六丁、黑澤病院約一丁、前田病院約二丁、車馬ノ便アリ、開業醫六名患者收容ノ設備アルモノナシ

六、水道ノ設備ヲ缺キ飲料水ハ悉ク井水ヲ使用ス、船舶ニ對シ給水設備ヲ有セス、下水ハ不完全ニシテ甚タシキハ汚水ノ停滞シテ疏通セサル所アリ又市中ニシテ全ク下水ノ設ケナキ所アリ下水ハ市街ノ中央ヲ流ル、御銚内川及柴田川ニ放流ス

水質試驗成績

種類	採取月日	採取場所	清濁色	臭味	反應	クロール	石灰	ニウム	硫酸	亞硝酸	有機物	硝酸	飲料適否
泉井	大正四年八月九日	六字番町(冷水)	清澄	無	中性	二八	不檢出	不檢出	五	不檢出	不認	三	適
堀井	同	岩間(冷水)	微濁	同	中性	五二	少量	二〇	同	同	痕跡	不	適
堀ノキ井	同	岩間(冷水)	微濁	同	中性	三〇	不檢出	一八	同	同	三	適	適

當町ニハ共同井戸三十三ヶ所アリテ其内各所ヨリ一ツ、ヲ選ヒ掲上シタルモノトス

七、市外ニ屠獸場ナシ屠肉ハ俱知安、札幌、旭川方面ヨリ供給ヲ受ケツ、アリ其實良好ト云フ程ニアラス價格ハ比較的廉價ナリ、野菜果物等ハ豊富ニシテ近隣町村ニ於テ多量ニ生産シ殊ニ果物(葡萄、林檎)ハ年々他地方ニ輸送供給シアリ、清涼飲料水製造場一ヶ所アリ一日平均六十打ヲ製造シアリテ他方面ニモ過半供給シアリ

八、乗合馬車一、人力車九、艇舟七艘アリ

九、公園ナシ、劇場一、寄席一、共同便所五、住民ノ氣風ハ一般ニ奢侈ニ流レ、物價ハ本道一般ヨリスレハ中位ナリ

北海道檜山郡江差町

江差警察署(大正六年七月十五日調)

一、戸數一千七百五十三戸 人口八千七百三十二人

二、傳染病ノ發生統計ハ左表ノ如クニシテ大正四年中、バラチフス「ハ」大流行ノ兆アリタルモ極力豫防ノ結果患者總數六十六名ニシテ終熄ヲ見翌五年ニハ同シク「バラチフス」ノ發生アリタルモ患者二十五名ニシテ終熄ヲ告ケタリ、地方病トシテ特ニ認ムヘキモノナシ

最近五年間傳染病患者發生表

年次	虎列刺	赤痢	腸室扶私	チバチフス	痘瘡	發疹	猩紅熱	實布	ベスト	瘧	要
大正元年	—	—	—	四	—	—	—	—	二七	—	—
同二年	—	—	—	—	—	—	—	—	三	—	—
同三年	—	—	—	二	—	—	—	—	一〇	—	—
同四年	—	—	—	二	六六	—	—	—	七	—	—
同五年	—	—	—	一	二五	—	—	—	九	—	—

大正六年ニ入りバラチフス患者二名ノ發生ヲ見タルモ六月一日轉歸シ爾後傳染病患者ナシ

三、江差郵便電信局アリ、公衆電話ノ設備アリ、檜山支廳、江差町役場、檜山稅務署、江差區裁判所、檜山營林區分署、帝室林野管理局札幌支所江差出張所及江差警察署等アリ

四、浴場三戸各戸一時ニ約三十名ヲ收容スルコトヲ得、毎日午前六時ヨリ開始スルヲ例トス、旅館九軒一等二戸收容概數五十名、二等三戸同六十名、三等四戸同六十五名、料理屋十五軒一等二戸、二等五戸、三等八戸、妓樓三軒、公娼十二名、檢査毎週一回土曜日ニ行フ、藝妓二十七名、必要ニ應シ健康

診斷(局部診斷ヲモ)ヲ行フモ定期ノ診斷ヲ行ハス其他私娼ト認ムヘキモノナシ

五、私立病院二、收容人員金子病院十八名、收容人員毛利病院十名(設備完全ナリ)入院料一等三圓、二等二圓、三等一圓、隔離病舎一、收容人員二十五名設備完全ニシテ何時患者發生スルモ收容上毫モ支障ナシ、埠頭ヨリノ距離、金子病院ハ約四町毛利病院ハ約八町、隔離病舎ハ約十五町ヲ距ルモ車馬ヲ通ス、開業醫四名、患者收容ノ設備ヲ有スルモノナシ

六、水道設備ナク飲料水ハ悉ク井水ヲ使用ス船舶ニ對シ給水設備ナシ、下水溝ハ街路ノ兩側ニ普通木製開渠ヲ通スルモ至リテ不完全ニシテ多クハ海中ニ放流ス

水質検査成績

種類	採取月日	採取場所	透明度	臭味	反應	クロール	石灰	アムモニア	硫酸	亞硝酸	硝酸	有機物	飲料適否
井水	大正四年八月	檜山郡江差町	透明	良	中性	微量	微量	無	微量	無	無	無	適

七、市外ニ屠場一ヲ有シ冬季ハ一ヶ月平均四頭ヲ屠牛スルモ、夏期ハ殆ト屠畜セス、魚類ノ豊富ナルト又宗教關係上獸肉ヲ食スルモノハ他ヨリ入込ノ官吏位ナルヲ以テ屠殺數極メテ少シ、蔬菜ハ多ク自家用ノモノヲ栽培ス又附近ニ農村アリ多量ニ生産スルヲ以テ供給潤澤ナリ

八、乗合馬車八、人力車一、艇舟ハ乗用二艘、運送船五艘アリ

九、公園ナシ、劇場一、寺院七、共同便所一二、茂尻小學校内ニ檜山教育會ノ圖書館アリ、電燈ノ設備アリ、漁業及商業ヲ以テ生計ノ本據トスルモ十數年來鱈ハ不漁續ノ爲メ漁業家ハ疲弊シ隨テ商業モ頓ニ振ハス毎歲衰微スルノミニテ一般氣風ハ概シテ質素ナリ諸物價中魚類蔬菜類ハ安値ナルモ其他日用

品及米穀類ハ運輸ノ關係上比較的高價ナリ

北海道松前郡福山町

福山警察分署(大正六年七月二十五日調)

一、戸數九百六十一戸 人口四千八百八十五人

二、既往數年間著シキ傳染病ノ流行ナク、又地方病等ナシ

最近五年間傳染病患者發生表

年次	虎列刺	赤痢	腸室扶私	チバラス	痘瘡	發疹	猩紅熱	實布	ベスト	摘	要
大正元年											
二年									六		
三年											
四年									一		
五年									一		

本年七月六日腸室扶私患者發生隔離病舎ニ收容中ナルモ爾來續發患者ナシ

三、福山町郵便局、函館區裁判所出張所、福山町役場、福山警察分署

四、浴場三軒各戸一時ニ約二十名ヲ收容スルヲ得、開設時間ハ毎午後三時、旅館ハ一、二、三等ノ區別ナクシテ二戸アリ客ノ收容概數ハ二戸ヲ合シ客間二十四其疊數ハ百九十疊半ヲ有スルヲ以テ一疊一人ト概算スルトキハ百九十人、料理屋ハ一、二、三等ノ區別ナク營業者九名アリ(概ネ地方ノ三等ニ近シ)妓樓二軒、公娼七人、檢徴ハ毎週一回土曜日トス、藝妓四人ハ一年二回警察醫ノ健康診斷ヲ受ケシムル

モ檢微ヲ行ハス、其他私娼ト目スヘキモノナシ

五、私立松前病院一收容人員九名設備完備シタル方、入院料ハ特ニ規定セス一室ヲ患者ニ貸與シ食費藥價ヲ辨セシム以上三者ヲ合スルトキハ一日平均八十錢位、避病院ノ設置ナキモ町立假隔離病舎一アリ收容人員二十五人設備完全シ收容ニ支障ナシ、松前病院ハ埠頭ヨリ約百間福山町大字松城町ニ在リテ車馬ヲ通ス、開業醫二名患者收容ノ設備ヲ有スルモノナシ

六、水ノ供給ニ就テハ井戸水及泉水ヲ飲用シ、出入船舶ノ給水モ井水泉水ヲ用キ居レリ、下水ハ町内ヲ通スル巾一尺五寸深一尺内外ノ溝ヲ穿テ疏通セシメ下水道ノ設備未タ完全ナラス

水質檢査成績

種類	採取月日	採取場所	清濁色	臭味	反應	クロール	石灰	アムモニア	硫酸	亞硝酸	硝酸	有機物	飲料適否
井水	大正四年八月	松城町御殿水	清	無	酸性	〇.〇〇	—	—	—	—	—	—	—
泉水	同	及部町中道トマノ	微濁	—	アルカリ性	一六〇〇	—	痕跡	痕跡	—	—	—	—
井水	同	川原町高ノ井水	微濁	—	酸性	六〇〇	—	痕跡	—	—	—	—	—
泉水	同	泊川町川内清作井	清	—	中性	八三〇〇	—	—	—	—	—	—	—

備考 濾過煮沸飲料ニ適ス、有機物ハ「過マンガンサンカリウム」消費量ヲ計上ス町内ニ於ケル大部分ハ良水ナリ

七、福山町内外共屠場ナク獸肉ハ全部函館ヨリ供給セラル、モ冬期間ノミニシテ需用者少シ、野菜類ハ福山町ヲ始メ近隣村落ヨリ産出シ供給潤澤ナリ、清涼飲料水ノ生産者ナク多クハ函館ヨリ供給ヲ受ク

ルモ各地方製造業者ヨリ直送シ來ルモノナリ

八、乗合馬車ナシ、人力車ナシ、荷車十二臺アリ、解舟三艘アリ

九、福山公園一、劇場活動寫真常設館等ナシ、共同便所二、其他ナシ、住民ノ氣風ハ一般ニ質素ニシテ物價ハ比較的廉價ナリ、目下町民ノ希望ニ依リ有志相計リ松前水力電氣會社ノ設立計畫中ナレハ早晚成功ヲ見ルニ至ルヘシ

北海道紗那郡留別村

紗那警察分署(大正六年八月一日調)

一、戸數百十六戸 人口五百三人

二、既往數年間著シキ傳染病ノ流行ナシ、地方病トシテ特ニ認ムヘキモノナシ

最近五年間傳染病患者發生表

年次	戊列刺	赤痢	腸チフス	チバチフス	痘瘡	發疹チフス	猩紅熱	實利亞	ベスト	摘	要
大正元年	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
同二年	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
同三年	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
同四年	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
同五年	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

本年傳染病患者ノ發生ナシ

三、郵便電信局、逡査部長派出所、逡査駐在所、戸長役場、區裁判所出張所

- 四、浴場ナシ、旅館一戸、收容概數十五名、料理店八戸、酌婦四名
- 五、避病院ナシ、開業醫一名患者收容ヲ爲サス埠頭ヨリ約五丁
- 六、水道ノ設備ナシ飲料水ハ悉ク井水ヲ使用シ、艦船ニ對シ給水設備ヲ有セス、下水ナシ、水質検査ノ成績表ナシ
- 七、漁村ナルヲ以テ鱒鮭季節中ハ生魚アルモ其ノ以外ノ時期ニハ魚類ナシ魚類ヲ商フモノナシ、大根馬鈴薯類ノ根菜少許ヲ産スルモ潤澤ナラス價不廉、果物類ハ悉ク函館方面ヨリ移入ヲ俟ツ從テ價廉ナラス屠獸場ナク獸肉ニ乏シ
- 八、乗合馬車、人力車ナシ、舢舨三艘アリ、人馬繼立アリ馬匹ノ供給潤澤ナリ
- 九、公園、劇場、活動寫館、共同便所、圖書館等ナシ、住民ノ氣風、習慣共ニ良好ナラス、概シテ奢侈ニ流レ、物價ハ總テ高價ナリ

樺 太 沿 岸

樺太廳

樺太豊原郡豊原町

豊原支廳(大正六年七月二十日調)

- 一、戸數千二百七十戸 人口五千二百三十八人
- 二、昨大正五年ハ例年ニナキ暑氣甚シキ爲メ傳染病流行ノ兆アリシモ其他既往數年間著シキ傳染病ナシ、地方病トシテ特ニ認ムヘキモノナシ

最近五年間傳染病患者發生表

年次	虎列刺	赤痢	腸窒扶私	チフス	瘡痘	發疹	猩紅熱	實布	ベスト	摘	要
大正元年			一	八			七	五			
同二年			一				六	五			
同三年			三			一	一	三			
同四年			三				四	七			
同五年			一五	一五			五	一			

本年一月以來バラチフス三、猩紅熱一、腸窒扶私、實扶的利亞各二發生シ、目下實扶的利亞一、腸窒扶私一、ハ豊原醫院ニ入院中

三、樺太廳、豊原支廳、樺太地方裁判所、同檢事局、豊原區裁判所、同檢事局、專賣支局出張所、郵便

- 電信局、札幌監獄樺太分監、高等女學校、尋常高等小學校等アリ、電話設備アリ、巡查派出所二アリ
- 四、浴場四軒各戸一時ニ四十名ヲ收容スルヲ得、毎日午前七時ヨリ開始スルヲ例トス、旅館現在十七戸收容概數百四十四名(三疊ニ一人ノ見込)、料理屋二十八戸、妓樓ナシ、藝妓二十九名、酌婦三十七名、毎月三回應醫院醫師ノ健康診断ヲ行フ、其ノ他私娼ト認ムヘキモノナシ
- 備考 浴場一戸四十名ヲ收容シ得ルハ男女兩浴場ヲ使用スル見積リニシテ即チ女浴場ヲ閉鎖シ便宜共通使用ノ場合ニ於ケル見積リナリ、旅館ハ一等二戸、收容數五十四名、二等二戸二十五名、三等十三戸、六十五名トス
- 五、豊原醫院一、收容人員五十名、私立栗原病院一、收容ノ設備ナシ、入院料一等二圓、二等一圓二十錢、三等七十錢、隔離病舎ナキモ之ニ充ツヘキ家屋一アリ、完全ニシテ收容ニ支障ナシ、收容人員約四十名、豊原醫院ハ豊原停車場ヨリ約七丁、車馬ヲ通ス
- 六、水道ノ設備アリ、飲料水ハ悉ク水道ノ水ヲ用フ、下水ハ不完空ニシテ各街路ノ兩側ニ溝渠ヲ穿チ低地ニ流ル、飲料水ハ検査シタルコトナキモ水質不良ナラサルカ如シ
- 七、市外ニ屠獸場一ヲ有シ、冬季ハ一日約一頭、夏季ハ三日ニ約一頭ノ屠獸ヲ爲シ生肉ヲ供給ス其ノ質良好ニシテ價格ハ比較的高價ナリ、野菜ノ供給ハ夏秋雨澤ニシテ附近村落ニ於テ多量ニ生産スルモ冬春雨澤ハ生産セス、供給充分ナラス
- 八、乗合馬車十三、人力車二
- 九、公園ナシ、劇場一、寄席一、慈惠院一、共同便所二アリ、住民ノ氣風ハ一般ニ奢侈ニ流レ、物價ハ比較

的高價ナリ

樺太榮濱郡榮濱村大字榮濱

榮濱巡查部長派出所(大正六年七月二十五日調)

- 一、戸數百七十五戸 人口千四百三十七人
- 二、既往數年間著シキ傳染病ノ流行ナシ、地方病トシテ特ニ認ムヘキモノナシ、大正三年度ニ腸窒扶私一、大正五年度ニ腸窒扶私三名發生シタルノミ
- 三、榮濱出張所榮濱巡查部長派出所、郵便局アリ
- 四、浴場二軒、各戸一時ニ約二十名ヲ收容スルヲ得、毎日午前十時頃ヨリ開始スルヲ例トス、旅館一等一戸、收容概數約三十五名、二等一戸、收容概數十五名、三等四戸、收容概數四十三名、計九十三名但シ(疊二枚ニ一人ノ割)、料理店二等五戸、娼妓ナシ、私娼蔓延ノ事實ナシ、藝妓酌婦ニ對シテハ毎月三回定期健康診断ヲ勵行シ、花柳病ノ蔓延ヲ防止セリ藝妓三名、酌婦十三名
- 五、公醫一名アルモ患者收容ノ設備ナシ、病院避病院ノ設備ナシ
- 六、水道ノ設備ヲ缺ク、飲料水ハ悉ク井水ヲ使用シ、船舶ニ對シ給水設備ナシ、下水ノ設備ハ區々ニ亘リ全ク無キ所アリテ不完空ナリ、水質検査ヲ實行セシコトナシ
- 七、當榮濱村ニハ屠獸場ノ設備ナシ生肉ハ豊原ヨリ供給ヲ受ク、清涼飲料水ノ製造所ナク豊原、大泊ヨリ供給ヲ受ケ販賣ス、野菜ノ供給ハ潤澤ニシテ本村ニ於テ多量ニ生産ス
- 八、乗合馬車ナシ、荷馬車約二十臺、舢舨十艘アリ
- 九、娛樂機關ナシ、住民ノ氣風ハ一般ニ奢侈ニ流レ、物價ハ比較的高價ナリ



樺太大泊郡大泊町

大泊支廳(大正六年七月二十日調)

一、戸數二千四百四十戸 人口九千六百四十三人

二、既往數年間著シキ傳染病ノ流行ナク、且ツ地方病トシテ特ニ認ムルモノナシ

最近五年間傳染病患者發生表

年次	虎列刺	赤痢	腸室扶私	チフス	痘瘡	發熱私修	猩紅熱	實布	ベスト	摘	要
大正元年			一〇	四				六			
同 二年			一七	六				一〇			
同 三年			三〇				三	九			
同 四年			三六	一七			四	二七			
同 五年			四四	一一			一	一五			

本年中發生ノ患者ハ腸チフス四、猩紅熱四、實布哇利亞四名ナリ

三、郵便電信局アリ、電話ノ設備アリ、巡查派出所アリ

四、浴場十六ヶ所ニシテ一時ニ約二百五十名ヲ收容スルヲ得、毎日午前十時頃ヨリ開始スルヲ例トス、旅館一等三戸收容概數百二十名、二等四戸百五十名、三等十五戸三百八十名、料理店一等二戸、二等

五戸、三等二十戸、四等十八戸、公娼ナシ、藝妓、酌婦ニシテ私娼ニ類スル者百八十名アリテ毎月三回(二ノ日)健康診斷ヲ行フ

五、私立病院ナク樺太廳立大泊醫院一、收容人員約二十名設備完全ナリ、入院料(食料ヲ除キ)一等一圓

八十錢、二等一圓二十錢、三等八十錢ナリ、避病院ナキモ隔離病舎アリ、一收容人員約二十名設備完全ナラサレトモ收容ニ支障ナシ、大泊醫院ハ海岸ヨリ八丁、隔離病舎ハ六十間ニシテ車馬ヲ通ス、開業醫六名、患者收容ノ設備ナシ

六、水道ノ設備ヲ缺ク、飲料水ハ悉ク井水ヲ使用ス、船舶ニ對スル給水ハ設備アリ、下水ハ不完全ニシテ各街路ノ兩側ニ僅カノ溝渠ヲ通シ市街ノ中央及附近ヲ流ル、河川ニ放流ス、水質ハ別ニ検査ヲナシタルコトナキモ不良ニアラス

七、市外ニ屠獸場一ヲ有シ、冬季ハ一日一、二頭、夏季ハ四日ニ一頭ノ屠牛ヲナシ生肉ヲ供給ス其質不良ナラサルモ價格ハ比較的高價ナリ、野菜ノ供給ハ潤澤ナラスシテ主ニ北海道ヨリ移入ス、清涼飲料水ノ製造ハ「ラムネ」一種ニシテ一日ニ約二百打ヲ製造シ得

八、乗合馬車三十五臺、貨物馬車百九臺、舢舨三十艘アリ

九、公園ナシ、劇場四、寄席一、共同便所五アリ、住民ノ氣風ハ一般ニ奢侈ニ流レ、物價ハ比較的高價ナリ

樺太眞岡郡眞岡

眞岡支廳(大正六年七月二十五日調)

一、戸數九百三十戸 人口四千三百三人

二、既往數年間著シキ傳染病ノ流行ナシ、又特ニ地方病ト認ムヘキモノナシ

最近五年間傳染病患者發生表

年次	虎列刺	赤痢	腸室扶私	チフス	痘瘡	發疹	猩紅熱	實布	ベスト	摘	要
大正元年		二	四	二				四			
同二年				二			一	三			
同三年							一	二			
同四年				五				二			
同五年			二	一五							

本年一月、以來バラチフス四、猩紅熱一、チフテリア十名ノ患者發生シタルモ目下患者ナシ

三、郵便電信局アリテ電話ノ設備アリ、巡査派出所等アリ

四、浴場五軒アリ、各戸一時ニ約二十名ヲ收容シ得、二、三午前六時頃ヨリ開始スルモノアルモ其他ハ毎日午後三時頃ヨリ開始スルヲ例トス、旅館ハ一等三軒各戸約八十名、二等六軒各戸約五十名、三等六軒各戸約三十名ヲ收容シ得、料理店ハ一等二軒、二等七軒、三等十軒アリ、妓樓ナシ、藝妓(酌婦)五十九名、酌婦四十九名ニ對シテハ毎月三回健康診断ヲ受ケシム、其他私娼ナシ

五、私立醫院ニアリ各十名ヲ收容シ得ルモ設備ハ不完全ナリ、入院料ハ等級ヲ設ケス一日一圓七十錢位トス、避病院トシテ建設シタルモノナク官有建物ヲ以テ之ニ充テ患者四名ヲ收容シ得ルニ過キス設備不完全ナリ、私立醫院ハ何レモ埠頭ヨリ約四丁ニシテ車馬ヲ通ス、開業醫ハ二名ニシテ前記私立醫院ヲ開設シ居ルモノナリ、海岸ヨリ約八丁ノ所ニ應立眞岡醫院アリ患者二十六名收容ノ設備ヲ有シ車馬ノ便アリ、入院ハ一等二圓、二等一圓二十錢、三等七十錢(但シ一日分ノ料金)

六、水道ノ設備アリテ全市街ニ給水シ居ルモ、船舶ニ對スル給水設備ナシ、下水ハ不完全ニシテ街路ノ兩側ヲ開渠シ疏水ス、水道ノ水質ハ悪シカラス

七、屠獸場一アリ、冬季ハ一ヶ月約十二頭(牛八頭、豚四頭)ヲ屠殺シ、尙時々北海道方面ヨリ生肉ヲ移入スルモ夏季ハ獸肉ノ需用少キヲ以テ屠殺ヲ行ハス又内地ヨリモ移入セス全ク供給ノ途ナシ、其質モ内地品ニ比スレハ劣等ニシテ而モ價格ハ内地ヨリ高價ナリ、果物ハ當地ニ産出セサルヲ以テ悉ク内地ヨリ移入ス、其主ナルモノハ「リンゴ」梨子、桃、柿、密柑等ナリ、清涼飲料水トシテハ當地ニ於テ出產スルモノハ「ラムネ」「サイダー」ニシテ其製造モ僅々千「ダース」ニ過キス其他ハ内地ヨリ移入ス

八、乗合馬車五、人力車ナシ、解舟十三隻アリ、尙ホ市中ニ馬車鐵道アリ

九、公園ナシ、劇場一、寄席一、共同便所四アリ、圖書館ナシ、住民ハ一般ニ奢侈ニシテ物價モ亦從テ一般ニ高價ナリ

樺太敷香郡敷香村大字敷香

一、戸數八十四戸 人口三百三十三人

二、既往數年間著シキ傳染病ノ流行ナシ、地方病トシテ特ニ認ムヘキモノナシ

最近五年間傳染病患者發生表

年次	虎列刺	赤痢	腸室扶私	チフス	痘瘡	發疹	猩紅熱	實布	ベスト	摘	要
大正元年											
同二年											

敷香支廳(大正六年七月二十日調)





大連

一、日本人戸數八千九百九十六戸支那人六千六百八十戸 日本人々口三萬六千二百三十人支那人四萬六千二百三十七人

(大正五年十二月調)

最近二年間傳染病患者發生表

年次	痘列刺	赤痢	腸室扶私	チバチアスラ	痘瘡	發疹	猩紅熱	實布	ベスト	摘要
大正五年	1	70	89	32	209	88	145	13	1	
大正六年 二月末迄ノ現在	1	3	3	1	8	1	34	1	1	

三、大連ニ於ケル建築物ハ擧ケテ數フヘカラサルモ就中官衙トシテハ大連民政署、通信管理局、大連郵便局、大連觀測所、中央試驗所、海務局、大連水道事務所アリ其ノ他ニ南滿洲鐵道株式會社、日本賣藥株式會社、大連檢疫所、大連衛生組合事務所等アリ、大連檢疫所ハ大正二年經費四十餘萬圓ヲ投シテ新築セシモノニシテ東埠頭ヲ距ル東方約四千五百尺ノ丘上寺兒溝ニ在リテ脚下ニ大連灣及市街ノ全景ヲ俯瞰シ遙カニ大和尚山並ニ有名ナル日露古戰場タル南山ト相對シ展望壯觀ニシテ形勝ノ位置ヲ占メタル壯麗ナル建築物ナリ

四、逢坂町遊廓ハ斜ニ西公園ニ對シ谿谷幽邃ノ地ニアリ、青樓軒ヲ並ヘ總數四十二軒、娼妓約五百ト云フ、藝妓モ市街各所ニ五百餘名散在セリト云フ、旅館ハ遼東ホテル、大連ホテル、花屋、吾妻旅館等其主ナルモノニシテ孰モ設備完全セリ

五、病院及醫院トシテハ大連病院ヲ初メ西醫院、基督教慈惠病院、東醫院アリ尙各所ニ開業醫十數人ア

リ、大連病院ハ市内山城町停車場前ニ在リ本醫院ノ開設以前ニ於ケル醫療機關トシテハ軍政時代ノ狀態ヲ繼續シ大連ニハ僅カニ都督府所管ノ大連醫院アリテ一般居留民ノ治療ヲ爲シ來レリ、明治四十年四月滿鐵會社ノ業務開始ト共ニ先以テ陸軍病院ノ引繼ヲ承ケシカ當時ハ在來ノ建築物ヲ充用シタルニ過キササルヲ以テ病院トシテノ設備ハ到底不完全ヲ免レサリキ、同年十月ニ至リ都督府ノ大連醫院ヲ引受ケシモ尙狭少ニシテ多數ノ患者ヲ治療スルニ適セサルヲ以テ逐年病舎ヲ増築シ大正三年ニハ内科及外科病室又ハ理學的療法室ヲ特設シ、尙舊「ヤマトホテル」ノ跡ニ小兒科外來診察所及病室ヲ増築シ今日ニ至レリ(イ)療病院ハ都督府ノ經營ニシテ傳染病病院ナリ(ロ)慈惠病院ハ有志ノ寄附及都督府ノ補助ニ依ル財團法人ニシテ貧困患者ノ療養ヲ目的トス(ハ)其ノ他婦人院、驅微院アリ(ニ)開業醫十九、齒科醫三

六、飲料水トシテ水道ヲ使用シ水質良好ナリ、船舶供給ノ狀態ヲ見ルニ何時ニテモ要求ニ應ジ最モ迅速ニ且ツ廉價ニ供給シ得ルノ準備アリ、埠頭岸壁ニハ總テ水道管ヲ敷設シアリテ直接給水シ、沖合碇泊ノ船舶ニハ蒸氣ポンプ付水船ヲ以テ給水ス其ノ量左ノ如シ

給水船ヨリスル場合 一時間 三十五噸  
埠頭給水栓ヨリ給水スル場合 同 五十噸

水質検査成績

種類	採取月日	採取場所	清濁色	臭味	反應	クロール	石灰	アモニア	硫酸	亞硫酸	磷酸	有機物	飲料適否
水道水		瀧邊池	澄明	ナシ	弱アルカ	三九.五〇〇	二.六三	ナシ	痕跡	ナシ	痕跡	〇.七〇	適

水道水	配水池	澄明	ナシ	弱アルカ	三九.五〇〇	三.六〇	ナシ	痕跡	ナシ	痕跡	〇.七〇	適
水道水	譚家屯	澄明	ナシ	弱アルカ	三九.五〇〇	三.四〇	ナシ	痕跡 <td>ナシ</td> <td>痕跡 <td>〇.七〇</td> <td>適</td> </td>	ナシ	痕跡 <td>〇.七〇</td> <td>適</td>	〇.七〇	適
水道水	逢坂町	澄明	ナシ	弱アルカ	三九.五〇〇	三.六三	ナシ	痕跡 <td>ナシ</td> <td>痕跡 <td>〇.七〇</td> <td>適</td> </td>	ナシ	痕跡 <td>〇.七〇</td> <td>適</td>	〇.七〇	適
水道水	大和町	極微濁	ナシ	弱アルカ	三九.五〇〇	三.四〇	ナシ	痕跡 <td>ナシ</td> <td>痕跡 <td>〇.六三</td> <td>適</td> </td>	ナシ	痕跡 <td>〇.六三</td> <td>適</td>	〇.六三	適
水道水	北大山通	澄明	ナシ	弱アルカ	三九.五〇〇	三.四〇	ナシ	痕跡 <td>ナシ</td> <td>痕跡 <td>〇.六三</td> <td>適</td> </td>	ナシ	痕跡 <td>〇.六三</td> <td>適</td>	〇.六三	適

下水道ハ市街普ク敷設シアリ

七、民政署ノ經營セル屠殺場アリ昨年完成シタルモノニシテ設備整ヘリ但シ屠殺數ハ市内ノ需要ヲ充タスニ足ラスシテ一部分ノ供給ヲ青島ヨリ仰ケリ、質モ亦青島産ニ劣ル、魚類、野菜類少シ

九、公園トシテハ東公園、西公園、北公園、常盤公園、電氣遊園等アリ、園内ニハ氷滑場、テニスコート、大弓場、器械體操場或ハ花壇ヲ設ケ盆栽ヲ配列シ酒饌ノ需ニ應スヘク諸所ニ小庵アリ、殊ニ電氣遊園ハ伏見臺ノ東端ニ一區ヲ劃シ大連灣大連市小崗子ヲ俯瞰シ遠ク三十里ノ光眸ヲ一瞥ノ中ニ收ムル形勝ノ地ナリ

青島

(大正六年三月調)

- 一、日本人人口一萬七千七百三十六人 支那人四萬六千五百一十一人 外國人六百三人
- 二、傳染病ハ現在患者痘瘡九内日本人八、支那人一、猩紅熱四(日本人)アメリバ赤痢一、痘瘡其他ノ傳染病ハ絶ヘス支那人間ニ存スルヲ以テ衛生局ハ戶口調査其他ノ方法ニ由リ發生所在等ヲ明ラカニセンコトヲ努ムルモ彼等ノ低級ナル智識程度衛生思想ノ絶無頑固ナル迷信等幾多ノ障害アリテ尙充分ナル

目的ヲ達シ得サルハ遺憾ナリ然レトモ痘瘡其ノ他ノ傳染病ハ目下甚シキ流行ヲ見スシテ諸所ニ散發スルニ過キサルハ明ナルカ如シ、痘瘡ハ近來多少増加ノ兆アルヲ以テ強制種痘其他ニ由リ豫防ニ努メツツアリト云フ、大正五年一月以來ノ傳染病患者發生數ヲ示セハ左ノ如シ(大正五年一月ヨリ同年十二月マテ)

青島		支那		日本		他ノ外國人		總計	
發生	死亡	發生	死亡	發生	死亡	發生	死亡	發生	死亡
痘瘡	一三	三	二	一	一	一	一	一八	四
猩紅熱	二	一	一	一	一	一	一	一〇	一
實布垣利亞	一	一	一	一	一	一	一	一	一
腸チフス	一八	四	一〇	一	一	一	一	四二	三
バラチフス	一	一	一	一	一	一	一	一	一
赤痢	一	一	一	一	一	一	一	一	一
計	一八	一〇	一	一	一	一	一	一八	一

當地ニハ特ニ固有ノ風土病ト稱スヘキモノナシト雖モアメーバ赤痢、細菌赤痢ノ外ニ之ト類スル一種ノ加答兒性腸疾患アリ

四、花柳病 藝妓及酌婦ハ二百六十一人凡テ日本人ニシテ每週一回健康診斷ヲ行フ、青島ニ於テハ青島病院新町分院ニ於テ之ヲ行ヒ有毒婦ニハ強制的入院ヲ命シ無料ニテ治療ヲ施ス、尙地方支那人間ニハ花柳病廣ク蔓延シ婦人病院ヲ兼ネ支那人治療ヲ行フ、新町分院ニテ診ヲ乞フ支那人ニ極メテ多數ノ花

柳病ヲ發見スト云フ

五、大正四年青島治療院ヲ設置シテ軍人軍屬ノ家族及一般市民ノ治療ヲ開始ス、大正五年五月軍政署ノ編制改正ニ伴ヒ同署ニ衛生課ヲ置キテ軍政管内地方衛生行政ヲ司ラシメ青島治療院ハ青島病院ト改稱シ軍政署ノ經營ニ移サル、同時ニ軍政署ノ事業タリシ婦人病院、傳染病院、支那人治療病院ヲ青島病院分院トナセリ、更ニ昨年十二月支那人治療病院及婦人病院ヲ合シテ新町分院トシ茲ニ衛生課ヲ置ク、海港檢疫ニハ青島港務部ニ軍醫二名ヲ屬セシメ入港船舶ニ對シ之ヲ行ヒツ、アリ、開業醫青島ニ一時二十六名ヲ算シタルモ現今十四名ニ減シ齒科醫二名、藥劑師八名アリ、獨乙人醫師一名アリ、山東鐵道沿線ニ於テハ濟南ニ一名ノ開業醫アルノミ

衛生機關

(A) 青島及其ノ附近ノモノ

一、青島守備軍病院 一般軍人軍屬患者ノ治療。二、青島軍政署衛生課 諸般ノ衛生行政ヲ總理ス。青島病院 軍人軍屬家族並ニ一般地方患者ノ治療(日本人)。青島病院新町分院 特殊婦人及支那人治療。青島病院臺西鎮分院 傳染病院。山東鐵道管理部ニ診療所ヲ置ク(山東病院)。三、李村診療所 青島軍政署李村出張所ニ屬シ軍人軍屬及一般日本人ヲ診療ス

(B) 鐵道沿線ニ在ルモノ

四方醫院 職員ハ山鐵管理部衛生員ニシテ山鐵職員ノ診療ヲ行フ。青島守備軍病院坊子分院 守備隊附衛生部員兼掌シ軍人軍屬一般地方民ヲ診療ス。坊子醫院 山鐵管理部衛生員職ヲ掌リ山鐵職員ノ診

療及檢微。淄川炭礦病院 同軍人軍屬地方患者ノ診療。青島守備軍病院濟南分院 守備隊附衛生部員兼掌シ軍人軍屬ノ診療。濟南病院 山鐵管理部衛生部員職員タリ軍屬及地方患者ノ診療

六、飲料水及水道

(一)飲料水ハ水道水ヲ用フ水源池ノ關係上多少鹽分多キ嫌ヒアルモ水質良好ナリト云フヲ得ヘシ最近守備隊病院ニ於テ爲セル檢査成績左ノ如シ

青島市内給水栓(三月十五日)

外觀	臭味	反應	アムモニ	亞硝酸	硝酸	クロール	硬度	固形物	酸素消	浮游物	細菌	記	事
無色澄明	無味無臭	弱アルカリ性	ナシ	ナシ	ナシ	六六・〇	八・〇	三〇〇	一・〇	ナシ	七一	リットル中ノミ	

水中ニ散在セル井戸ハ凡テ之ヲ封塞セシメ使用ヲ禁止シ水道水ノミヲ使用セシムルコト、セリ  
 (二)水道 水源池李村及海泊ニ在リ海泊水源ハ水流流域極メテ小ニシテ最大給水量六百噸内外ニ過キス、主トシテ李村水源ニ由ル水質概シテ良好ナリ李村水源ハ李村川及張村河ノ合流地點ニ在リ海岸ニ近シ、當地占領ノ際獨軍ハ水道ノ主ナル部分ヲ破壞シタルヲ以テ戰後直ニ應急設備ニ由リ一時ノ需用ヲ充タシ大正四年八月末日ニ至リ復舊工事全ク成リ獨乙時代ト同様ナル給水ヲ行ヒ得ルニ至レリ以上ノ水源河川ニハ當時一般ニ流水ナキヲ以テ河身近クニ造レル井戸ニ由リ地下ノ潜流ヲ集メテ水源トナセリ

七、生糧品

屠畜場ハ獨乙時代ノ經營セルモノヲ其儘襲用シ軍政署ノ所管タリ規模ノ大ト設備ノ完全トハ以テ東洋第一ト稱セリ製氷機及冷藏庫ヲ兼備ス昨今牛豚約三百頭ヲ屠殺スト云フ頃者浦鹽方面へ輸

出極メテ多シ、有名ナル山東牛ハ其質優良ニシテ且ツ產額豐富ナルコト天下ニ冠タリ一月中ノ屠牛數四千二百四十四頭、山東白菜、落花生、甘藷ハ地方ノ主要產物、而シテ後者ハ土人ノ主食物ナリ、生魚類ハ太刀魚、鯛、鯖、鱈、グチ等近海ニ産ス



索引

イノ部

石巻町 三三  
岩屋町 三五  
巖島町 三六  
糸崎町 三六  
今津 三六  
伊萬里町 三五  
伊形村 三三  
巖原町 三三  
石狩町 三三  
岩内町 三三

ハノ部

濱島村 三六  
端村字和倉 三三  
濱田町 三三  
波多津村 三六  
萩町 三六  
函館區 三五  
羽幌村 三六

索引

馬山府 三五

ニノ部

新潟市 三三  
新居濱町 三三  
二里村 三五  
西山代村 三六

ホノ部

北條町 三五  
防府町字三田尻 三三  
細島町 三三  
本渡町 三六

ヘノ部

日置村 三三  
別府町 三三

トノ部

鳥羽町 三六

納町 三六

徳島港 三三

戸畑町 三三

東海村 三六

富岡町 三六

泊村 三六

頼別村 三六

豊原町 三三

長府町 三三

中城町 三三

鎮南浦府 三三

兩津町 三三

龍岩浦 三三

沼津町 三三

留萌町 三三

留別村 三三

小田原町 三三

小名濱町 三三

萩濱村 三三

大槌町 三三

小濱町(福井縣) 三三

大阪市 三三

尾道市 三三

大分市 三三

大牟田市 三三

大村町 三三

小濱村(長崎縣) 三三

小樽區 三三

大泊町 三三

ヲノ部

和歌浦町 三三

和倉 三三

和歌浦町 三三

和倉 三三

和歌浦町 三三

和倉 三三

和歌浦町 三三

和倉 三三

和歌浦町 三三

和倉 三三

和歌浦町 三三

和倉 三三

輪島町……………一五  
若松市(福岡縣)……………二四  
稚内町……………二四  
カノ部  
鎌倉町……………六  
勝浦町(千葉縣)……………九  
勝浦町(和歌山縣)……………五  
釜石町……………六  
柏崎町……………九  
蒲江町……………三三  
唐津村……………五  
唐津町……………五  
鹿兒島市……………五  
花蓮港街……………九  
ヨノ部  
四日市市……………四  
呼子村……………三  
タノ部  
館山町……………七  
武豐町……………三  
田邊町田邊港……………一五  
太地村……………五  
高松市……………六  
多度津町……………一〇  
谷山村……………六  
淡水街……………三  
打狗……………三  
大連……………三  
ツノ部  
辻堂……………八  
辻村……………六  
津市……………九  
土崎港町……………六  
敦賀町……………九  
津組村……………三  
津奈木村……………三  
ネノ部  
根室町……………三  
ナノ部  
名古屋港……………一〇  
直江津町……………一〇  
七尾町……………一〇  
長濱町……………一〇  
中津町……………一〇  
長洲町(大分縣)……………一〇  
中出水村下鯖淵字米ノ津港……………一〇  
名瀬村……………一〇  
長崎市……………一〇  
長洲町(熊本縣)……………一〇  
那覇區……………一〇  
ムノ部  
室積町……………一七  
向津具村……………一八  
室蘭町……………一八  
ウノ部  
浦賀町……………一〇  
字久井村……………一〇  
字品町……………一〇  
字津賀村……………一〇  
宇和島町……………一〇  
白杵町……………一〇  
牛深町……………一〇  
浦河町……………一〇  
ノノ部  
野内村……………一〇  
野邊地町……………一〇  
能代港町……………一〇  
延岡町……………一〇  
クノ部  
桑名町……………一〇  
飯ヶ崎町……………一〇  
久美濱町……………一〇  
玖波村……………一〇  
黒川村……………一〇  
串木野村……………一〇  
口ノ津村……………一〇  
銅路町……………一〇  
群山府……………一〇  
ヤノ部  
燒津町……………一〇  
山田町……………一〇

柳井町字柳井津町……………一五  
八代町……………二  
マノ部  
的矢村……………六  
麻里布村……………四  
丸龜市……………九  
牧島村……………五  
枕崎……………六  
増毛町……………四  
眞岡……………五  
ケノ部  
元山府……………六  
フノ部  
二見港……………一  
藤澤町辻堂……………八  
船橋町……………三  
藤生……………九  
船川港町……………八  
伏木町……………六  
福岡市……………七  
福江村……………一五  
福山町……………七  
釜山府……………五  
コノ部  
神戸市……………一  
高知市……………四  
米ノ津港……………六  
古仁屋……………七  
エノ部  
江尻町……………六  
江ノ浦村……………三  
枝幸村……………三  
江差町……………四  
テノ部  
天籟村……………六  
アノ部  
赤須賀村……………三  
青森市……………八  
淺虫……………八  
相川町……………六  
穴水町……………三  
尼崎市……………四  
明石町……………五  
安下庄町……………一  
油津町……………七  
厚岸町……………六  
網走町……………八  
安平街……………五  
サノ部  
酒田町……………九  
西郷町……………一  
境町……………一  
堺市……………一  
櫻洲村今津……………三  
佐伯町……………三  
佐賀町……………三  
榮濱……………三  
キノ部  
木更津町……………四  
氣仙沼町……………六  
杵築村(島根縣)……………一〇  
杵築町(大分縣)……………三  
基隆街……………三  
ユノ部  
湯淺町……………一  
由良町……………一  
由宇村……………一  
ミノ部  
港村……………五  
三輪崎町……………五  
宮古町……………七  
三國町……………七  
宮津町……………三  
御影町……………一  
三田尻……………一  
三津濱……………一  
三川町……………一  
淡港……………一  
三角町……………一  
シノ部

下田町	三	門司市	三九
清水町	六	茂木村	三〇
下里村	六	紋別村	三三
鹽釜町	六	木浦府	三七
新湊町	七		
下關市	一七	セノ部	
下江村	一七	清津府	三五
志布志町	一八	青島	四三
斜古丹村	一八		
仁川府	一四	スノ部	
城津	一五	洲本町	三五
敷香	一七	須崎町	三三
		壽都町	四〇
ヒノ部			
菱海村	一八		
東村	三三		
東山代村	三〇		
東南方村枕崎	二六		
東方村古仁屋	二七		
平戸町	二九		
日奈久町	三三		
卑南街	三三		

大正七年二月十五日印刷  
 大正七年二月十八日發行

# 海軍省醫務局

印刷者 島 連太郎  
 東京市神田區美土代町二丁目一番地

印刷所 三 秀 舍  
 東京市神田區美土代町二丁目一番地

67  
230

終

